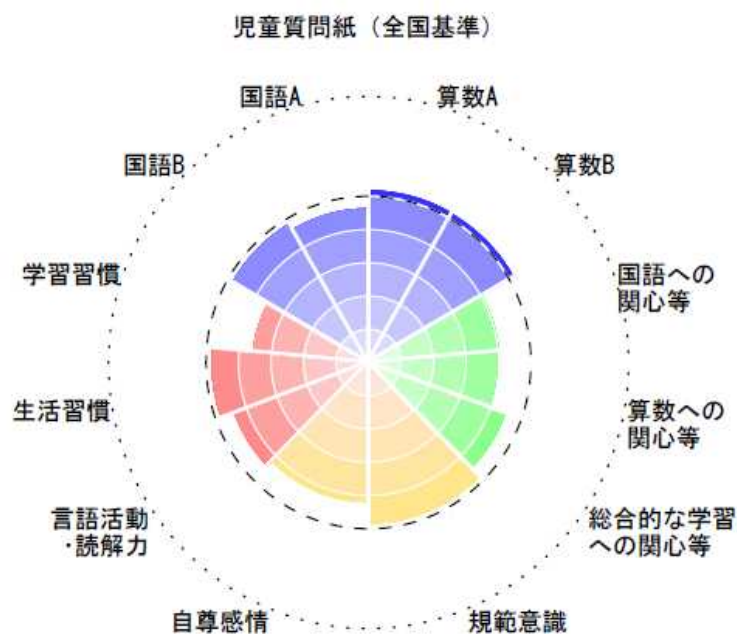


さっことは算数が得意！？

～平成26年度全国学力・学習調査結果より～



早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年度の「全国学力・学習状況調査」の結果について、その概要をお知らせ致します。

左の図を見てください。これはいろいろな項目で、本校9一の児童の状況と全国の基準を比較したもので、視覚的に本校の実情がよくわかるようになっています。内側の点線が全国基準の目安です。

学習面について

学習面では、「国語A」（主として知識に関するもの）は正答率が全国平均をやや下回っています。「国語B」（主として活用に関するもの）の正答率は全国平均をわずかに下回っています。詳しくみていくと、国語Aの領域では、書くことは全国を上回っていますが、その他の領域ではわずかに下回っています。

国語Aの領域の学力を向上させるためには、漢字の読み書きや言葉の使い方、故事成語（昔から使われている熟語等）に対する知識を、低学年からコツコツと積み上げていくことが重要だと考えています。学校でも日々練習等に取り組ませますが、繰り返しの練習や本に触れさせる機会を増やすなどご家庭のご協力をお願いいたします。国語Bは、話の内容を整理する、表現の工夫を読み取る、2つの文を比べて違いを捉えるというような力を調べるのですが、どの領域でもほんのわずかですが全国に及びません。学校でも授業の質を向上しこれら総合的な国語力を培っていきたいと考えていますが、ご家庭でも、めあてをもって読書したり、新聞に興味を持つ環境を作るなど文字に親しむ機会を設けていただくと幸いです。

続いて算数ですが、「算数A」（主として知識に関するもの）及び「算数B」（主として活用に関するもの）ともに全国平均をわずかに上回っています。算数Aでは、数量や図形についての知識理解、技能ともに上回っていますが、さらに向上するために、スパイラル（発達や学年の段階に応じた反復）な学習を積み上げていきたいと考えています。ご家庭にもその一部分を担っていただくことで、より密度のある学習になると思いますのでよろしくをお願いいたします。算数Bでは、数学的な考え方、知識や技能を応用する力を調べます。問題に対して、わかる情報を整理して、これまで学習してきた方法を工夫しながら答えに近づいていくという力をさらに伸ばしていきたいと考えております。ご家庭でも、答えがまっているかどうかだけでなく、どうやってその答えにたどり着いたかを話し合ってみてください。

生活面について

生活面では、学校のきまりを守るとか友達との約束を守るといった規範意識は高いという結果です。「ニュースを見る」「社会を良くするために自分は何をすべきかを考えることがある」といった子が多いのも嬉しいことです。また、「朝ごはんを毎日食べる」「決まった時間に寝る」「決まった時間に起きる」といった生活習慣がきちんとできている子が多いというのはお家の方のご努力の賜物と思います。引き続きよろしくお願い致します。

次に課題としては、図からもわかるように子どもたちは国語や算数に対する関心（勉強は大切だから頑張ろう、おもしろそうだから自分でも調べてみよう）と宿題以外の勉強をする学習習慣に、全国との隔たりがあります。つまり、勉強は大人から言われてやるもの、やりなさいと言われた事をやるものといった雰囲気があるのではないかと思います。学力を向上させるには、学習への興味関心をもたせるのが近道です。自分でこの本を読んでみようと思う、この問題はおもしろそうだから解いてみようと思う。そういった新たな学習に自分から進んで取り組める子になって欲しいと思っています。そのために学校では学ぶことが楽しい授業をこれからも心がけていきます。家庭学習でも宿題だけでなく、自分が好きなものについて調べてみるといったお子さんの意欲を大切に自主学習にも取り組むよう働きかけてあげてください。「好きこそものの上手なれ」です。

これからも学校と家庭、一緒になって子どもたちを育て参りたいと思います。よろしくお願い致します。